

32

復旧にとどまらず、復興を

〜後藤新平〜

一九二三年九月一日に発生した関東大震災で、東京は都心部と下町のほぼ全域が焼け野原となりました。内務大臣兼帝都復興院総裁に就任した後藤新平は、震災復興計画を立案しますが、巨額の予算が必要となり審議会から猛反対されます。新平は東京を人々の生命を守る防災都市として復興させるため、計画の修正を受け入れます。



後藤新平

